

# 令和元(2019)年度 周南市行政評価のまとめ【概要】

## ■ 行政評価の目的

- ◆ 成果志向の行政運営
- ◆ 情報共有化の促進と説明責任の向上
- ◆ PDCA サイクルを基本とする「行政マネジメントサイクル」の確立
- ◆ 職員の意識改革

## ■ 取組状況

	事務事業評価	施策評価
評価主体	所管課による自己評価	行政評価等評価委員会
対象	前年度実施した事務事業 (785 事業)	まちづくり総合計画前期基本計画の 推進施策 (149 施策)
評価方法	・内部事務システムでの評価 ・目的妥当性、有効性、効率性 の項目について自己評価	事務事業評価結果、まちづくり総 合計画の進捗状況、まち・ひと・し ごと創生総合戦略の評価結果等 より総合的に判断
総合評価	各評価項目に配点された得点の 合計により4段階 (A～D) に 分類	目標の達成度等により4段階 (A～D) に分類

## ■ 財政効果額

令和元年度行政評価や各課の工夫等により、2年度当初予算に反映した効果額

1,123,330 千円

### 【主な内容】

- 実施計画事業費等の精査 : 225,792千円
- 長穂児童園の閉園 : 10,488千円
- 新庁舎移転に伴う公用車台数の削減 : 1,427千円
- 県公共施設予約サービスとの共同運用 : 1,643千円

## ■ 評価結果

### ◆ 事務事業評価の結果

評価	A	B	C	D	合計
事業数	529	249	7	0	785

### ◆ 施策評価の結果

H30方向性 (※)	R1 評価				
	A	B	C	D	計
重点推進	8	5	0	0	13
推進 (緊急性を伴うもの)	3	7	0	1	11
推進	7	16	4	0	27
維持	50	32	15	1	98
計	68	60	19	2	149

※ H30方向性 : H30年度施策評価において、各推進施策の「重要度」と「緊急性」の組合せにより決定した4つの方向性のこと

## ■ 今後の課題 (方向性)

- まちづくり総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略との連動
- 第4次行財政改革大綱及び緊急財政対策との整合性
- 行政評価システムの連携と活用 ➡ 予算編成・実施計画との連動